

北海道札幌啓成高校 2019 年度カナダ研修

第 7 日目 2020 年 3 月 6 日 報告書

研修 7 日目、今日は 1 日スタディーセンターでの学習とアクティビティとなります。

午前中は、ESL 講師クリスティン先生とカナダのファースト・ネーションズ（先住民）に関して学びました。カナダの先住民の住宅や暮らしのイメージから、現在のホストファミリーや日本と相違点を考えました。そして、彼らのシンボルとして使われたトーテムポールに描かれている動物の意味するものを学びました。また、午後に制作する、先住民の民芸品、ドリームキャッチャーの謂れや役割に関して紹介されました。

午後は、先住民文化保存教育を行っている Mavis さんに教室に来ていただき、午前中の授業で取り上げた先住民の文化を体験的に学びました。伝統的な Welcome Song でワークショップは始まりました。伝統的な衣装や木の皮で作った帽子等も紹介され、解説の中で彫刻やタトゥー、装飾品など、アイヌ文化にも共通するところがあるという話もありました。ワークショップの中では、一人 1 つずつドリームキャッチャーを実際に作りました。キットに糸を通してビーズや羽で飾り付けをするのですが、作業も細かく、また英語での説明ということもあり、苦戦している生徒もいましたが、良いお土産ができたようです。後半は、ドラムやマラカスのような楽器を使って教えていただいた歌を歌い、オオカミやクマ、イーグルなどの動物を模したダンスを踊って盛り上がりました。

今日で今週のプログラムは終わり、次の登校日となる月曜日が現地でのプログラム最終日となります。家に帰ったら、授業で作ったドリームキャッチャーを枕元に飾り、良い夢を見てぐっすり休み、週末はホストファミリーとの楽しく充実した時間を過ごすことを期待しています。

以上、カナダ研修 7 日目の報告となります。



ドリームキャッチャーづくり



ファーストネーションズの歌と動物の踊り



伝統衣装